

よこはまの四季を楽しむ情報誌

# みどろ

春

No.148



祝

開園40周年!

金沢動物園 おもいでめぐり

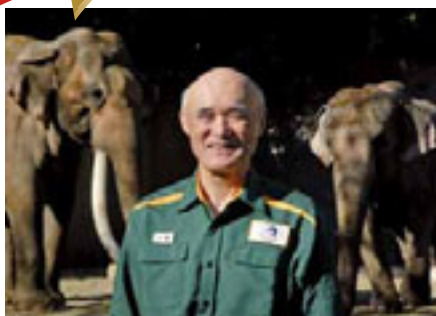
● 園長から皆様へ ●

1982年3月17日に開園した金沢動物園は、今年で開園40周年を迎えました。これも来園者の皆様、地域の皆様、関係団体の皆様の多大なご支援とご協力のおかげです。心より感謝申し上げます。

金沢動物園は柵の無い「無柵放養式展示」で世界の希少草食動物を中心に飼育しています。また、高台にあるため東京湾が一望できる見晴らしの良さや、緑豊かな金沢自然公園の四季折々の表情を共に楽しむことが開園当初からの自慢です。

動物園を取り巻く環境は40年前とは大きく変わりましたが、動物園の4つの役割（種の保存、調査・研究、環境教育、レクリエーション）は変わっていません。これからも役割を果たしながら、皆様により一層愛される動物園を目指して歩んでまいります。

開園40年目という節目の年に、ぜひ金沢動物園へご来園いただき、笑顔になっていただけたら嬉しいです。



横浜市立金沢動物園 園長 小國 徹

※新型コロナウイルス感染症の状況により、休園およびイベント等は変更・中止となる場合があります。最新情報はホームページをご確認ください。



# スタート

開園時 飼育点数 3種10点

**1982** 3月17日 野毛山動物園の分園として一次開園。当初の展示動物はオオツノヒツジとシロイワヤギ、プロングホーン。職員は5名のみ。



オオツノヒツジは金沢動物園のロゴマークに使われています。

**1985** 4月 インドゾウの「ボン」(オス・推定8歳)と「ヨーコ」(メス・推定7歳)のペアがインド・ボンベイ市から21日間の船旅を経て来園。



**1986** 10月 オーストラリアから来たコアラは、成田空港からヘリコプターで運ばれ来園し、11月に一般公開を開始。

神奈川県内で唯一見ることができます!

当時はコアラ見たさに大行列!

## 祝 開園40周年! 金沢動物園 おもいでめぐり

### 写真展開催!

「写真で紡ぐ、思い出の中の動物園」  
期間: 3月19日(土)~5月31日(火)  
場所: 金沢動物園内

40周年記念!



① おもいではどうぶつ  
かつて金沢動物園で暮らした希少な動物をご紹介します



左が大きな個体で重さ1tを超える世界最大級の牛ガウル、右が世界最小の水牛ローランドアノアです。

#### 基本情報

住所: 金沢区金沢谷東5-15-1  
交通: 京急線「金沢文庫」駅より西口1番バス乗場、京急バス文1・文2系統に乗車、「夏山坂上」下車徒歩6分  
他 駐車場: 有料1200台  
入園料: 一般500円他  
時間: 9:30~16:30 (最終入園16:00)  
休園日: 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)  
TEL: 045-783-9100

イベント情報はホームページをチェック!

横浜市立金沢動物園



### 1990

11月 動物園への出入口「なかよしトンネル」が完成。



⑥ おもいではどうぶつ  
愉快的音楽と人形のダンスでみなさまをお迎えし!

**1992** 10月 金沢自然公園ビジターセンター「ののほな館」が完成。

**1993** 8月 国内初!アオバネウライカワセミの赤ちゃんが誕生。



成鳥の姿

② ビクーナ「ハジメ」  
当時、ある職員の前で見せる姿が話題に。

毎日声をかけてくれる隣の売店の女性職員が現れると走り回ったり首を振ったり大喜びでした。



② おもいではどうぶつ

③ キンシコウ  
1995年10月に中国上海市から来園し、翌年に赤ちゃんが誕生。



③ おもいではどうぶつ

1999年にペアでズラシアへ引越し、その後中国へ返還されました。

**1999** 5月 「ボン」の伸びてクロスしていた左牙が折れる。



2001年には右牙も折れ、両牙が1mほどに。

なんと「ヨーコ」のお尻を勢いよく押しあたり折れました!

7月 マレーシア・ネガラ動物園からシロテテナガザルが来園。



シロイワヤギ「ベンケ」  
2020年8月に天国へ旅立ッ。



⑥ おもいではどうぶつ

治療のため足に巻いたカラーテーピングがトレードマーク。国内最後で国内最高齢の19歳でした。

**2021** 6月 横浜市繁殖センターからベアードバク「ファビオ」が来園。



狩猟や森林開発によって生息数は減少。国内で見ることができるのは金沢動物園だけです。

11月 6年ぶりにキリンの赤ちゃんが誕生! 名前は「サキ」。



**2022** 3月17日 祝!開園40周年



ゴール  
飼育点数 約51種1058点

**2017** 12月 当園初のカピバラ3頭(愛称「ドングリ」「ココロ」「ラザニア」)が仲間入り。



夏はプールに入ります!

Pick up 動物たちの豊かな暮らし「エンリッチメント大賞」情報! 2年連続受賞しました

エンリッチメント大賞とは? 市民ZOOネットワーク主催による表彰制度。動物福祉の立場から、飼育動物の「豊かで幸福な暮らし」を実現するための取組みを表彰するものです。

2020年「インドゾウに対する生活の質向上の取組み」が「敢闘賞」を受賞  
取組みの一例) コンクリートの放飼場に砂を敷き詰めたところ、足の負担が軽減され行動のレパートリーが増えました。

2021年「オオツノヒツジの生態展示とその検証」が「奨励賞」を受賞  
取組みの一例) 血統管理も兼ねてメスを草地へ移動させたところ、自由に草が食べられ野生に匹敵する採食時間の増加に繋がりました。

「ボン」は45歳になり日本一の大きな牙を持つオスゾウへ成長。牙は今でも1年に10cm程伸びています。今でも一回り小柄な「ヨーコ」は43歳になり、ボンのエサも横取りしてしまう。ほどの「食いしん坊」に。ほとどの「食いしん坊」は、メスにちなみにゾウの牙は前歯です。メスのヨーコには無いように見えますが、短い牙が口の中におさまっています。

分かるかな? ①  
左からヨーコ、アーシャー

**2006** 11月 ヤギ、ヒツジ、ポニーなどを飼育する「ほのぼの広場」が完成。

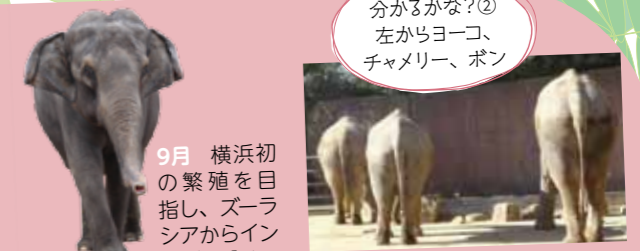


**2005** 7月 夏季限定「カプトムシの森」公開開始。



※2018年で終了しました。

隠れフォトスポット どこにあるか探してみよう!



9月 横浜初の繁殖を目指し、ズラシアからインドゾウ「チャメリー」(メス)が来園。(現在は豊橋総合動植物公園で暮らしています。)

**2016** 4月 オオカンガルー展示場がオークスルーになり、より近くで見学可能に。



**2015** 10月 地域の生き物や自然をもっと知ってほしいという職員の希望により「身近ないきもの館」が完成。



アカネズミ、横浜メダカ、ミヤコタナゴなどを展示しています。

コモンウオンバット「ヒロキ」  
あでこの3本シワがチャームポイント。愛らしい姿がSNSで話題に。



⑤ おもいではどうぶつ

草モグモグタイム  
推奨29歳まで生きました。(公式YouTubeでヒロキの動画を公開しています。)

### 2012

2月 ズラシアから「キアング」が来園。



現在国内最高齢のご長寿オカビ。5月7日で26歳になります。

2007年に園内で誕生したルビーは、みんなのお昼寝の枕にされても全く怒らな心優しいカンガルーに成長しました。14歳まで生き、大変人気者でした。

④ おもいではどうぶつ



オオカンガルー「ルビー」

### 2009

8月 国内で5例目のインドサイの赤ちゃん「ブンタ」誕生。



動物の絵のマンホール

オオツノヒツジのトイレマーク

カンガルーの道路標識





今年も横浜市内各所が  
花と緑で溢れます。

ガーデンネックレス横浜  
*Garden Necklace*  
YOKOHAMA 2022



第44回

© ITOON/GN



## 春の里山ガーデンフェスタ

横浜の花で彩る大花壇。今春のテーマは「幸せの花景色」です。ビオラ、パンジー、ルピナスなどロマンチックな色彩の花畑でガーデン散歩を楽しみましょう。

公式ホームページ



里山ガーデン (よこはま動物園ズーラシア隣接)  
横浜市旭区上白根町1425-4

3/26(土) ~ 5/8(日)  
9:30 ~ 16:30

入場  
無料



見どころ発信!

【お問合せ】 ガーデンネックレス横浜実行委員会  
NTTハローダイヤル TEL:050-5548-8686 (6/13まで)

## よこはま花と緑のスプリングフェア2022

横浜の春の風物詩。10万本を超えるチューリップが広がる横浜公園や21区画の花壇が展示される山下公園などをめぐりながら、横浜の春をお楽しみください。

公式ホームページ



緑の協会  
公式twitterで  
チューリップの  
開花情報  
発信!

【お問合せ】 よこはま花と緑のスプリングフェア運営委員会事務局  
TEL:045-228-9430

横浜公園・山下公園

4/8(金)・9(土)・10(日)  
10:00 ~ 16:00 (最終日15:00まで)

花壇展 (山下公園)・日本大通り

4/8(金) ~ 5/5(木・祝)  
終日

※新型コロナウイルス感染症の状況により、内容の変更または中止となる場合があります。



チューリップの名所としておなじみの横浜公園。毎春、色とりどりに咲き誇るチューリップの圧巻の景色が広がり、開花を楽しみに多くの来場者が訪れます。

昨年11月、市民ボランティアのみなさんが参加し、春の開花に向けて5万球のチューリップ球根を植え付けました。

横浜公園の花壇は、球根が品種ごとに整列して並び、鮮やかな色のコントラストが楽しめるのが特徴です。5万球の球根を整列して植えるのは至難の業。参加した314名の市民ボランティアが協力し合い、息を合わせて植え付けた「賜物」の風景が姿を現します。ぜひご期待ください!



市民が作る  
チューリップの名所

横浜公園




### 基金 だより

「よこはま緑の街づくり基金」は横浜市内の民有地の緑化を市民の手によって進めるために市民・企業・団体等からの寄付を積み立て、その運用益で市民の皆様の緑化活動を支援しています。

令和3年11月1日~令和4年1月31日に寄付をいただいた団体(順不同、敬称略)

【寄付団体】花やぐまち助成事業利用団体の皆様、市内募金箱ご協力の皆様

令和4年1月31日までの積み立て総額は2,694,453,190円です。

区役所等に募金箱を設置しています。



基金の果実(利息)は、市民の皆様の緑化活動に活かされています。よこはま緑の街づくり基金にご協力をお願いします。(ご寄付は税制上の優遇措置が適用されます)

【緑化支援内容の一例】令和3年度実績



生垣 3軒 17.0m



記念植樹 1本



花苗 101,795鉢、球根 21,889球、種袋 4,487袋 (のべ1,046団体)

- 寄付金の振込先  
横浜銀行本店 普通No.0381642  
受取人:(公財)横浜市緑の協会
- 問合せ先  
(公財)横浜市緑の協会 施設課 緑化推進係  
TEL.045-228-9470 FAX.045-641-0821

季刊誌みどり 春号 2022年4月1日発行  
編集発行/公益財団法人 横浜市緑の協会  
〒231-0021 横浜市中区日本大通58 日本大通ビル2階  
TEL:045-228-9421 FAX:045-680-2031  
デザイン・印刷/善友印刷株式会社



季刊誌みどりについて、アンケートを実施中です。QRコードを読み取り、皆様の声をお聞かせください。